

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2012-114084(P2012-114084A)

【公開日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2011-241971(P2011-241971)

【国際特許分類】

F 2 1 V	19/00	(2006.01)
F 2 1 V	23/06	(2006.01)
H 0 5 B	33/02	(2006.01)
H 0 5 B	33/04	(2006.01)
H 0 5 B	33/06	(2006.01)
H 0 5 B	33/28	(2006.01)
H 0 5 B	33/08	(2006.01)
H 0 5 B	33/14	(2006.01)
H 0 1 L	51/50	(2006.01)
H 0 1 R	13/639	(2006.01)
F 2 1 V	23/00	(2006.01)
F 2 1 S	2/00	(2006.01)
F 2 1 Y	105/00	(2006.01)

【F I】

F 2 1 V	19/00	5 1 0
F 2 1 V	23/06	
H 0 5 B	33/02	
H 0 5 B	33/04	
H 0 5 B	33/06	
H 0 5 B	33/28	
H 0 5 B	33/08	
H 0 5 B	33/14	Z
H 0 5 B	33/14	A
H 0 1 R	13/639	A
F 2 1 V	23/00	1 6 0
F 2 1 S	2/00	2 5 0
F 2 1 Y	105:00	1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光体と、装着部と、を有し、

前記発光体は、光学部材と、封止部材と、第1の端子と、第2の端子と、磁性部材と、
発光素子と、を有し、

前記装着部は、磁石と、第1の接点と、第2の接点と、を有し、

前記発光素子は、前記光学部材と前記封止部材との間に設けられ、

前記発光素子は、第1の電極と、前記第1の電極に重畠する第2の電極と、前記第1の電極と前記第2の電極との間に設けられた発光物質を含む層と、を有し、

前記第1の電極又は前記第2の電極は前記発光物質を含む層が発する光を透過し、

前記第1の電極は、前記第1の端子と電気的に接続され、

前記第2の電極は、前記第2の端子と電気的に接続され、

前記磁石は前記磁性部材を引き寄せ、前記第1の端子は前記第1の接点に接し、前記第2の端子は前記第2の接点に接して、前記発光体が前記装着部に脱着可能に固定される照明装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記第1の接点又は前記第2の接点の高さが可変である照明装置。

【請求項3】

請求項1または2において、

前記装着部は、

前記磁性部材に向かって前記磁石が摺動する摺動機構と、

前記磁性部材から前記磁石を遠ざける弾性体と、

前記第1の接点と前記第2の接点に電力を供給する開閉器と、を有し、

前記開閉器は前記摺動機構と連結され、

前記磁性部材の接近に伴い、前記磁石は、前記弾性体の応力に反して前記磁性部材に向かって摺動し、

前記開閉器はオン状態となり、前記第1の接点と前記第2の接点とを介して前記発光体に電力を供給する照明装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一において、

前記封止部材が前記磁性部材を兼ねる照明装置。